

板橋グリーンカレッジ運営協議会委員委嘱名簿

○ 任期 令和6年6月1日から令和8年5月31日まで

	役 職	氏 名	委員就任年月日
委員 (議長)	大東文化大学 文学部 英米文学科 教授	河野 芳英	令和2年6月1日～
委員 (副議長)	板橋グリーンカレッジOB会 会長	浦岡 信正	令和6年6月1日～
委員	東京家政大学 人文学部 教育福祉学科 大学院人間生活学総合研究科 教育福祉学専攻 准教授	宮地 孝宜	令和6年6月1日～
委員	淑徳大学 人文学部 人間科学科 助教	田中 元基	令和6年6月1日～
委員	東京都健康長寿医療センター研究所 研究員	横山 友里	令和6年6月1日～
公募	区民代表	鈴木 比呂子	令和6年6月1日～
公募	区民代表	寺澤 哲雄	令和6年6月1日～
区職員	板橋区教育委員会事務局 地域教育力担当部長	金子 和也	令和7年4月1日～ (充て職につき)

令和 6 年度 板橋グリーンカレッジの実施結果について

板橋グリーンカレッジは、シニア世代の多様化・高度化する学習要求に応えるとともに地域社会における活動促進を目的として、平成 6 年度より板橋グリーンカレッジ「高齢者大学校」を、平成 15 年度より「大学院」を開校している。

令和 4 年度より、生涯学習課が中心となって学びのハブ機能を果たし、シニア世代を含めた多様な世代に向けた生涯学習環境の充実・発展を図っていくことを目的に長寿社会推進課から業務移管を行った。

また、令和 6 年度より、年齢制限の撤廃や科目選択制の導入など、多世代化に向けた大幅なリニューアルを行っている。

令和 6 年度の実施結果については、下記のとおりである。

記

1 令和 6 年度の実施状況

(1) 1 年生

定員	300 名
申込者数	213 名
受講者	200 名
R7 進学者数	177 名

【受講者年代内訳】

年代	人数
10 代	1 名
20 代	2 名
30 代	4 名
40 代	8 名
50 代	31 名
60 代	82 名
70 代	64 名
80 代	8 名
合計	200 名

(2) 専門課程（聴講生含む）

		文化文学	社会生活	健康福祉	合計
定員		120 名	120 名	120 名	360 名
受講者数	進学者数	57 名	38 名	42 名	132 名
	聴講生	61 名	39 名	62 名	162 名
卒業者数 (本科生のみ)		48 名	37 名	41 名	126 名

(3) 大学院

	文化文学	社会生活	健康福祉	合計
定員	30 名	30 名	30 名	90 名
申込者数	21 名	22 名	14 名	57 名
卒業者数	20 名	22 名	11 名	53 名

2 板橋グリーンカレッジ公開講座

令和6年度から全世代を対象とした「板橋グリーンカレッジ公開講座」を開講している。令和6年度の実施状況は下記のとおりである。

(1) 概要

テーマ	ニュース番組の舞台裏
実施日時	令和6年10月6日(日) 14時から15時30分まで
講師	テレビ朝日広報局お客様フロント部、防災士 久慈 省平氏

(2) 申込状況

定員	100 名
申込者数	86 名※
参加者数	62 名

※申込者数内訳：令和6年度グリーンカレッジ受講生：36 名
受講生以外の方：50 名

(3) 申込者年代内訳

年代	人数
30 代	2 名
40 代	2 名
50 代	11 名
60 代	21 名
70 代	39 名
80 代	11 名
合計	86 名

(4) 案内チラシ

資料2-2のとおり



令和 6 年度 板橋グリーンカレッジ 公開講座

ニュース番組の舞台裏



【講 師】

テレビ朝日広報局お客様フロント部、防災士
久慈 省平 氏

【プロフィール】

社会部記者、「報道ステーション」ディレクター、BS 朝日コメンテーターのほか、東日本大震災では現地デスク。災害報道担当部長として ANN 系列の災害報道統括、ウェザーセンタープロデューサーなどを務めた。

令和 6 年 10 月 6 日 (日)

14 時から 15 時 30 分まで

会場：板橋区立グリーンカレッジホール



日々放送されているテレビのニュース番組。

誰がどのようにニュース項目を選び、取材現場ではどのような工夫をしているのでしょうか。

多くの現場に携わってきた講師が、ニュース番組の舞台裏について受講者目線でわかりやすく説明します。



【 板橋グリーンカレッジとは？ 】



- ▶ 区民の皆様の多種多様な学びの要求に応えることを目的に、開校しています。2 年制の大学校と、1 年制の大学院で構成されています。
- ▶ 板橋グリーンカレッジの受講生の方以外にも、カレッジ体験をしていただけるよう、公開講座を行っております。
- ▶ 今回は、「テレ朝出前講座」を利用しています。

とき

令和6年10月6日(日) 14:00から15:30まで

ところ

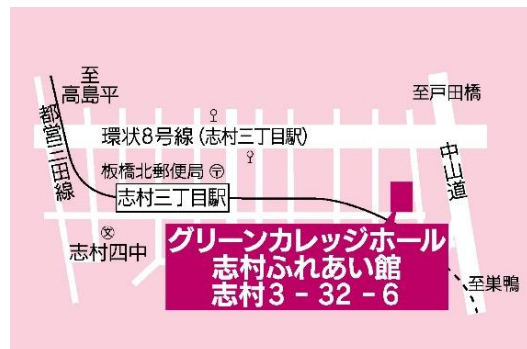
板橋区立グリーンカレッジホール

3階 教室1

板橋区志村3-32-6 ☎03-3960-7701

【都営三田線】志村三丁目駅下車 徒歩5分

【国際興業バス】志村三丁目駅バス停下車 徒歩5分



受講対象

区内在住・在勤・在学の方 100名

※定員を超過した場合は、抽選となります。

※受講料は無料となっております。

申込方法

往復はがき、または電子申請にて申込み **令和6年9月13日(金) 必着**

▶往復はがきの場合

＜記入事項＞

- ①板橋グリーンカレッジ公開講座申込み
- ②郵便番号・住所
- ③氏名(ふりがな)
- ④生年月日
- ⑤電話番号
- ⑥区内在勤・在学の場合は、

勤務先(所在地)・学校名を記入

※返信用にも住所・氏名を明記してください

▶電子申請の場合

下記QRコードから、専用フォームに
必要事項を入力しお申込みください。



申込み・問合せ 板橋区立グリーンカレッジホール

〒174-0056 板橋区志村 3-32-6 ☎03-3960-7701

令和7年度 板橋グリーンカレッジの受講状況について

1 板橋グリーンカレッジ大学校（1年生）

<年代内訳>

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	年代	人数
コース等	午前・午後	午前・午後	午前・午後	科目選択制	科目選択制	10代	0
募集定員	160名※1	160名	160名	300名	300名	20代	2
応募者数	208名※2	184名	195名	213名	217名	30代	4
入学決定者数	139名	160名	160名	213名	217名	40代	10
						50代	23
						60代	94
						70代	75
						80代	7
						不明	2
						合計	217

※1 令和3年度では、令和2年度（新型コロナウイルス感染症の影響により1年間休校）に受講する予定だった方を優先したため、定員160名のうち新規募集枠は29名となった。

※2 208名のうち、令和2年度受講予定者からの応募が131名、令和3年度の新規応募が77名となっている。

2 板橋グリーンカレッジ大学校（2年生）

<年代内訳>

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	年代	進学者	聴講生	合計
コース等	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉	科目選択制	10代	0	0	0
定員（a）	480名※	240名	240名	360名	400名	20代	1	0	1
進学者（b）	97名	129名	121名	138名	177名	30代	4	0	4
聴講生	定員（a-b）	383名	111名	119名	222名	40代	7	0	7
	応募者	246名	228名	217名	202名	50代	23	0	23
	受講決定者（d）	226名	111名	119名	174名※	60代	65	24	89
総受講者数（b+d）	323名	240名	240名	312名	361名	70代	68	115	183
卒業者数	88名	112名	95名	126名		80代	8	42	50
累計卒業者数	4,524名	4,636名	4,731名	4,857名		90代	0	1	1
						不明	1	2	3
						合計	177	184	361

※文化文学コースのみ定員を超えたため抽選

3 板橋グリーンカレッジ大学院

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
コース等	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉	文化文学 社会生活 健康福祉
募集定員	75名	90名	90名	90名	90名
応募者数	42名	54名	56名	57名	50名
入学決定者数	41名	54名	55名※	57名	50名
受講者数	41名	53名	55名	57名	50名
卒業者数	36名	47名	45名	53名	
累計卒業者数	1,247名	1,294名	1,339名	1,392名	

※受講前に1名がキャンセルしたため、55名となっている。

令和 7 年度後期
板橋グリーンカレッジ
講義概要

令和7年度 板橋グリーンカレッジ大学校1年生 講座一覧（後期）

ね ら い:1年生では、生涯学習を促進する多種多様なテーマについて、幅広く学びます。

会 場:グリーンカレッジホール(志村3-32-6)3階 教室1

講座 番号	科目	日時 ※①・②は同内容の講義	テーマ・講義内容	講師
1	福祉	①10月20日(月) 10:00～11:30	あなたのまち「いたばし」をだれもが住みやすいまちにするために 住み慣れた「いたばし」を家族や近隣の人たちなど、子どもから高齢者までだれもが住みやすいまちにするためには、どうしたらよいでしょうか。すべての人にとってくらしやすい地域社会の実現を目指す「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れて、建物や道路などのハード面と、しくみや人的対応などのソフト面、両方の視点から一緒に考えます。	日本大学理工学部 まちづくり工学科 助教・一級建築士 う え だ み づ よ 植田 瑞昌
		②10月27日(月) 10:00～11:30		
2	地理	①11月5日(水) 10:00～11:30	スポンジ化する都市 ——人口減少時代の空き家とまちづくりのゆくえ 人口減少が進むなか、都市では空き家や空き地が増え、スポンジのようにスカスカと空洞化する「スポンジ化現象」が深刻化しています。本講義では、日本の市街地が拡大・縮小してきた経緯をたどりながら、この現象の背景と課題を読み解きます。私たちが暮らすまちを、これからどう育てていくべきか、共に考えましょう。	大東文化大学 社会学部社会学科 准教授 め し つ か ゆ う す け 飯塚 裕介
		②11月5日(水) 14:00～15:30		
3	板橋学	①11月10日(月) 10:00～11:30	板橋の祭事と伝承 徳丸の北野神社と赤塚の諏訪神社に伝えられている「田遊び」は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。田遊びは、その年の五穀豊穡と子孫繁栄を祈願し、神に奉納する行事です。都市化が進む板橋区ですが、農業にまつわる祭事が連綿と伝承され続けています。板橋の祭事と伝承について、あらためて考えてみましょう。	葛飾区文化財保護 審議会委員 跡見学園女子大学・ 國學院大學・ 中央大学 兼任講師 す ず き あ き こ 鈴木 明子
		②11月17日(月) 10:00～11:30		
4	文学	①11月12日(水) 10:00～11:30	フランス文学を読む楽しみ ～「文学とは何か」入門講義～ 「外国文学を読む」とは、世界への興味と想像力を広げることです。『レ・ミゼラブル』・『星の王子さま』など、多くの名作にあふれている“フランス文学”は、人間の生と愛を語る豊穡な文学空間なのです。本講義では、「文学とは何か？」を考えながら、フランス文学作品の感動的なエクリチュール(文章表現)に触れ、それがどんな文化や歴史によって形作られてきたのかを探ります。フランス文学を読む楽しみを一緒に見つけてみましょう。	武蔵野大学 名誉教授 ひ さ と み け ん 久富 健
		②11月19日(水) 10:00～11:30		

講座 番号	科目	日時 ※①・②は同内容の講義	テーマ・講義内容	講師
5	プログラミング	①11月26日(水) 10:00～11:30	生成AI入門 人の言葉を理解する「生成AI」の登場によって、人工知能は全ての人にとって身近な存在となりました。AIは人間とどこまで似ていて、どんなところは異なるのでしょうか。仕組みを理解することでAIとの正しい付き合い方を知ることができます。これからの社会のあり方にすら影響を与える生成AIの世界と一緒に入門してみましょう。	東京都立産業技術 大学院大学 助教 なかうち りょうご 中内 遼吾
		②11月26日(水) 14:00～15:30		
6	心理学	①12月1日(月) 10:00～11:30	他者と共に生きるありがたさ、ややこしさ —集団心理学入門— 生きていく中で避けては通れない他者とのかかわり。他の人たちがいるからこそやり遂げられたことがある一方で、「周りの目」が気になり思い通りに行動できないこともあります。集団の中で生きることの良さと難しさについて集団心理学の視点から整理します。集団とうまく付き合う際のヒント、避けるべき落とし穴が見えてきます。	淑徳大学人文学部 人間学科 助教 まつもと よしえ 松本 良恵
		②12月1日(月) 14:00～15:30		
7	哲学	①12月3日(水) 10:00～11:30	易経に学ぶ-乾坤の知恵- 中国の古典は、人生をよりよく生きるのに役立つ知恵の宝庫です。この講義では、たくさんある中国の思想文献の中から、『易経』を取り上げたいと思います。『易経』乾卦を手がかりに、ライフステージごとの課題と乗り越え方についてのヒントを読み解いていければと考えています。	大東文化大学文学部 中国文学科 准教授 たかはし むつみ 高橋 睦美
		②12月3日(水) 14:00～15:30		
8	建築学	①12月12日(金) 10:00～11:30	アジアの建築史 ～世界遺産アンコール・ワットができるまで～ インドを起源とする仏教やヒンドゥー教の建築は、アジア各地域の建築と融合して多様な展開をみせます。今回は、アンコール(現カンボジア)で華開いたクメール建築に着目します。クメール建築の完成形と言われる12世紀初頭のアンコール・ワットは、段台ピラミッドとその上の堂塔が、均斉のとれた位置関係にあり、その構成美で広く知られています。このように壮麗な伽藍がどのように造られたのか、その過程をひもときます。	日本大学理工学部 助教 こじま ようこ 小島 陽子
		②12月12日(金) 14:00～15:30		

講座 番号	科目	日時 ※①・②は同内容の講義	テーマ・講義内容	講師
9	天文学	①1月21日(水) 10:00～11:30	天文学のすすめ ～夜空を見上げてみませんか～ 太陽系の惑星や星座を形作る星々、銀河、ブラックホールといった天体は、私たちの頭上、はるか宇宙にあります。講義では、日々更新される天文学の中で、現在わかっている宇宙や天体の情報などについて解説します。加えて、その日の星空の観察ポイントも紹介します。	教育科学館 天文担当 ひろせ ありさ 廣瀬 亜紗
		②1月21日(水) 14:00～15:30		
10	科学	①1月27日(火) 10:00～11:30	生命と地球の共進化 ー過去から未来を推定するー 生命は地球上で生まれ進化してきました。近年、地球の変動と生命の進化は密接に関係しているため、個別に論ずることでは理解は困難です。そこで、生命進化を含めた総合的な地球変動のシステムを理解した上で、「我々はどこから来たのか我々は何者か我々はどこへ行くのか」という問に対する解答をして見たいと思います。	日本大学 生物資源科学部 教授 のむら まさひろ 野村 正弘
		②1月27日(火) 14:00～15:30		
11	音楽	①2月4日(水) 10:00～11:30	身近な異文化「アイヌの音楽」を体感してみよう 古いアイヌの歌を聞くと「これが歌なの？何を歌っているの？」わけが分からないと思います。私たちが親しむ音楽文化とは異なる美意識があり、その味わい方があります。アイヌの音楽(異文化の音楽)を、楽器トコリや歌の実演とともに、分かりやすく紐解いて行きます。そこで見えてくる民族の歴史の内側や、西洋音楽の発達の意味があります。	東京音楽大学 講師 ちば のぶひこ 千葉 伸彦
		②2月4日(水) 14:00～15:30		
12	社会	①2月6日(金) 10:00～12:00	男らしさ・女らしさって何だろう？ ～暮らしの中のジェンダーの気づき～ 家庭や職場、地域の中で「性別の役割」について感じたことはありますか。「料理は妻の役目だった」「父は無口だった」など経験があるかもしれません。その「男らしさ、女らしさ」はどこから来たものなのか、「わたしらしさ」と一致するのか、講義とワークで考えていきましょう。	東京家政大学 女性未来研究所 所長 ひらの じゅんこ 平野 順子
		②2月6日(金) 14:00～15:30		

≪ 2年生への進級について ≫

2年生では、18 講座の中から 6 講座お選びいただき、履修届をご提出いただきます。
各講座は 3 回シリーズの講座を予定しております。詳細は 1 月頃お知らせいたします。

令和7年度 板橋グリーンカレッジ大学校2年生 講座一覧（後期）

ねらい：2年生では、生涯学習を促進する多種多様なテーマについて、より専門的な内容を学び、教養を深めます。

会 場：グリーンカレッジホール（志村3-32-6）3階 教室1

講座番号	科目	日時	テーマ・講義内容	講師
1	芸術	10月10日(金) 10:00～11:30 10月17日(金) 10:00～11:30 10月24日(金) 10:00～11:30	芸術をどう見（魅）せるか ～パリの美術館をめぐる 芸術の都として知られるパリには、ルーヴルやオルセーだけではなく、知られざる魅力を秘めた美術館がたくさんあります。歴史あるコレクションを現代の鑑賞者にどう見（魅）せるのか。アートと展示の新たな関係性が、さまざまな企画展で模索されています。美術館を通して、モードや建築、ジャポニスムの美しさを柔軟に受け入れてきたフランスの美術史について考えてみましょう。 ●10月10日：イヴ・サン・ローランからルーヴルへ ：美術とモードの融合 ●10月17日：コレクターの秘密：知られざる邸宅美術館 ●10月24日：マネ、モネ、ロダン、ゴッホ… ：パリにわたった日本美術	青山学院大学 文学部 フランス文学科 教授 ふくだ みゆき 福田 美雪
2	絵本	10月17日(金) 14:00～15:30 10月28日(火) 14:00～15:30 11月7日(金) 14:00～15:30	大人も楽しむ絵本特論 最近では、絵本の世界を楽しむ大人も増えてきました。絵本は、子どもはもちろん大人も楽しめる文化財です。絵本を楽しむ大人は、絵本のどんなところに魅了されているのでしょうか。絵本はどんな思いで作られているのでしょうか。絵本は人生にどのような意味をもたらすのでしょうか。本講座では、大人が絵本に夢中になる魅力を読み解きます。 ●10月17日：人生のなかに、絵本を ●10月28日：想いを編む～絵本にまつわるエピソード ●11月7日：絵本を味わう、幸せ時間。	東京家政大学 家政学部児童学科 教授 おざき つかさ 尾崎 司
3	福祉	10月21日(火) 10:00～11:30 10月28日(火) 10:00～11:30 11月4日(火) 10:00～11:30	福祉と防災 災害被害は、大地震などの規模×人口×社会の弱さ、で決まります。板橋区も被害を受ける首都直下地震では、どのようなことが起こるでしょうか。また、災害時には、高齢者、障がい者など脆弱性の高い方が、大変に厳しい状況に追い込まれます。このため、自らの備え、地域の支えあい、そして福祉関係者の支援が重要になります。 ●10月21日：首都直下地震が発生した場合、社会はどのような被害を受けるか。被害を軽減するために、どんな準備が必要か。 ●10月28日：災害時に高齢者、障がい者、こども等を支える福祉はどうあるべきか。 ●11月4日：災害時に特に大切なのは、コミュニティの支えあいです。では、良好なコミュニティをつくるためにはどうすればよいのか。	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 まちづくり学科 教授 かぎや はじめ 鍵屋 一

講座 番号	科目	日時	テーマ・講義内容	講師
4	板橋学	10月22日(水) 14:00～15:30 10月29日(水) 14:00～15:30 11月6日(木) 14:00～15:30	史料で読む近代の文化財、地域史 近代に生まれた比較的新しい時代の文化財を、私たちは如何に守り、活用したら良いのでしょうか。その第一歩は文化財の価値を客観的かつ実証的に知ることです。本講は史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」を中心に、歴史資料の解読を通して近代の文化財を多角的に見つめ、それが描き出す地域史を考えます。 ●10月22日：総論：史跡の概要と歴史資料の特徴を学習します。 ●10月29日：火薬製造所の敷地拡大を史料で考えます。 ●11月6日：全体のまとめと近代文化財の展望。	板橋区生涯学習課 文化財係 すぎやま そうえつ 杉山 宗悦
5	健康	11月10日(月) 14:00～15:30 11月24日(月祝) 14:00～15:30 12月15日(月) 14:00～15:30	生活習慣病の予防 日本での主な死因疾患は、悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患です。これらは、食事、運動、喫煙、飲酒、睡眠など生活習慣と深く関係し、生活習慣病と呼ばれます。生活習慣病は死因となるばかりか、生活の質(QOL)を損ねる元になります。生活習慣病の予防を「より善く生きる」ための道標にしたいものです。 ●11月10日：生活習慣病の概念と変遷を把握しましょう。 ●11月24日：「一無二少三多」とは何を示すのでしょうか。 ●12月15日：疾患別に理解を深めましょう。	なかむらクリニック 院長 なかむら なおや 中村 直也
6	農業	12月8日(月) 10:00～11:30 12月15日(月) 10:00～11:30 12月22日(月) 10:00～11:30	サステナブルな社会への変革の中心的存在としての食と農を理解しよう サステナブルな社会への変革において、食と農の分野はかつてないほど世界的に注目されています。そのことを、近年のグローバルな議論をもとに知るとともに、食料生産の観点からは「生態系サービス支払」、食料消費の観点からは「倫理的消費」という概念を用いて、サステナブルな食と農を実現していく社会の仕組みづくりについて学びます。 ●12月8日：SDGs・気候変動・サミットといったグローバルなサステナビリティの議論と統計データから食と農の問題を概観します。 ●12月15日：サステナブルな食と農に変革する社会の仕組みづくりについて、環境経済学の重要な概念である「生態系サービス支払」の観点から学びましょう。 ●12月22日：消費者の取組からサステナブルな食と農に変革する「倫理的消費(エシカル消費)」について学びましょう。	東洋大学食環境科学部フードデータサイエンス学科 教授 たけだ まり 竹田 麻里

講座 番号	科目	日時	テーマ・講義内容	講師
7	生活史	12月16日(火) 10:00～11:30 12月23日(火) 10:00～11:30 1月20日(火) 10:00～11:30	生活史でふりかえる昭和時代 昭和という時代はいくつもの顔を持っています。昭和初期、占領期、そして東京オリンピック開催前の昭和 30 年代と、人々の生活は大きく変化しました。でも、食べて・働いて・遊んで、という視点でそれぞれの時代をふりかえると戦前と戦後のつながりが見えてくるかもしれません。 ●12月16日：昭和初期をつかむ：百貨店のインパクト&アメリカ大衆文化の流入 ●12月23日：占領期をつかむ：闇市、キャバレー、接收されたホテル群 ●1月20日：昭和 30 年代の暮らしと現在のレトロブーム	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 准教授 おぜきたかこ 小関孝子
8	統計学	1月18日(日) 14:00～15:30 1月28日(日) 14:00～15:30 2月8日(日) 14:00～15:30	気象データと統計 気象庁が提供するいろいろな情報は、気象観測等のデータを活用して提供されています。また、その観測データなどについても気象庁 HP 上で見るができます。データの宝庫と言っても良いでしょう。これらのデータを活用して統計を学び気象情報の理解を進めてみましょう。 ●1月18日：天気解説で言われる平年とは何でしょう。 ●1月28日：150 年前の東京の気温は現在のどの付近の気温と同じでしょうか。 ●2月8日：50 年後の東京の気温を統計手法で予測してみましょう。	NPO 法人環境防災 総合政策研究機構 上席研究員 田代 誠司
9	天文学	※1月～2月で調整中	(仮) 宇宙科学について ※調整中	教育科学館 天文担当

《卒業レポートについて》

入学2年目の方は、講座の受講のほかに、「卒業レポート」の提出が卒業要件となっております。

「卒業レポート」の提出期間は、11月4日（火）～12月8日（月）です。詳細は、「卒業レポート提出のお願い」をご確認ください。

板橋グリーンカレッジのDX推進について

板橋グリーンカレッジ事業は、多世代化に伴い、①カリキュラムの再編成、②CI戦略によるブランド化、③DX推進による環境整備の3つを柱として、「時代に適した学び」の実現に向けて様々な改革を進めている。令和7年度及び令和8年度のDX推進策については、下記のとおり実施する。

記

1 卒業記念文集及び卒業研究レポート集の電子化について（令和7年度）

板橋グリーンカレッジのDX推進に伴い、ペーパーレスの観点から、大学校2年生及び大学院で配付していた卒業記念文集及び卒業研究レポート集は、データでの提供に変更する。

2 板橋グリーンカレッジ専用ポータルサイトの導入に伴う変更について（令和8年度）

受講生の利便性向上を目的とした専用ポータルサイトの導入に伴い、受講料の改定を行う。

【改定前】年間 5,000 円 【改定後】年間 10,000 円

※受講料については、「板橋グリーンカレッジ大学校・大学院実施要領」で規定されている。

また、講義のアーカイブ配信の導入に向けて調整中である。

新たな板橋グリーンカレッジ大学院カリキュラム案の検討状況について

板橋グリーンカレッジ大学院の新カリキュラムについて、現カリキュラムにおける課題を踏まえ、令和6年度第2回板橋グリーンカレッジ運営協議会において、提案したところであるが、多世代化の推進状況やDX化の推進状況等を踏まえ、以下のとおり改めて提案する。

記

1 現行のカリキュラム 【別紙1 移行スケジュール 参照】 変更なし

高齢者大学校の流れを受け、「文化文学」「社会生活」「健康福祉」の3コースを設置し、各30名を定員として運営をしている。年間13回の授業の中で、大学校よりさらに専門的な知識の習得を図るため、ゼミナール形式を導入した授業を行っている。また、グループまたは個人での研究活動、施設見学等のフィールドワークを行い、最終回には研究内容の成果を発表する。

2 大学院の課題 変更なし

(1) 構成員

大学院既修了者によるリピーターが多数占めており大学校卒業者からの進学割合が低い。

→魅力あるカリキュラムを提案し、新規進学者の増加が求められる。

(2) 高齢者向けのコース内容

令和6年度の大学校新入生から多世代化を実現した。大学院は、移行期間として高齢者向けの旧カリキュラムで運営している。

→今後は多世代向けのカリキュラムが求められる。

(3) 大学院修了後に、学びの循環に結び付いていない

→大学院修了者が1年間で学んだ内容を、対外的に活かしていくための受講生への意識付けが求められる。

3 新カリキュラム（案） 【別紙2 新たな板橋グリーンカレッジ大学院のカリキュラム案】

課題を踏まえて、下記のとおりカリキュラム案の見直しを行う。

	令和6年度の検討状況		令和7年度の検討状況
(1) 定員の見直し	定員を30名から25名へ変更し、講師が受講生一人ひとりに寄り添ったきめ細かな対応をしやすいとする。	⇒	現状、申込者は定員に満たないため、定員については現行どおりの30名とする。
(2) コースの増設	大学校の科目を増やしたことに伴い、コースも3から4コースへ増設する。また、分野を固定せず、大学校の科目にあわせてコース内容を毎年編成する。	⇒	令和8年度の大学院のコース数については、 現行どおりの3コースとする。 【理由】 令和6年度の大学校新生から年齢要件を撤廃したものの、令和7年度現在、受講生の8割以上が60歳以上であり、多世代化の実現に向けては多くの課題が残っている。 また、令和6年度から大学校を科目選択制に変更し、科目数を増やしたものの、科目ごとの受講者数にばらつきがみられる。 よって、大学校の科目設定について検討し、大学校で若年層を取り込んだうえで、大学院のカリキュラム変更を行う必要があるため。
(3) 学習内容の見直し	意見交換や発表会などの時間を増やし、学習の成果を発信する機会を設けることで講義の理解を深める。また、受講生自身で、大学院で学んだ研究内容の活用について考える時間を設ける。	⇒	変更なし

新たな板橋グリーンカレッジの移行スケジュール（予定）

令和 5 年度まで

令和 6 年度

令和 7 年度

令和 8 年度以降

大学校（1 年目）

※定員160名

仲間づくりや地域活動、生涯学習を促進する多様なテーマについて幅広く学ぶ
2 コース（午前・午後）

進学

専門課程（2 年目）

※定員240名

より専門的な知識の習得を図るために専門分野を選択し、教養を深める
3 コース（文化文学・社会生活・健康福祉）

進学

大学院（3 年目）

※定員90名

ゼミ形式で、より能動的な学びへ挑戦する
3 コース（文化文学・社会生活・健康福祉）

大学校（1 年目）

※定員300名

幅広いテーマの講座を提供し、受講生自ら受けたい講座のみを選択する
<例>

板橋学、社会学、文学、歴史、天文学、美術、経済、心理学、政治、福祉、哲学、情報など

新

専門課程（2 年目）

※定員360名

令和 5 年度教養課程からの進学者がいるため、従来の専門課程を実施

進学

大学院（3 年目）

※定員90名

令和 5 年度専門課程の卒業生がいるため、従来の大学院を実施

大学校（1 年目）

※定員300名

新体制のカリキュラムを実施

新

大学校（2 年目）

※定員400名

1 年目の科目について、より専門的な内容の講座を提供する。受講生は 1 年目同様に、自身で時間割を組む。

新

大学院（3 年目）

※定員90名

令和 6 年度専門課程の卒業生がいるため、従来の大学院を実施

大学校（1 年目）

※定員300名

新体制のカリキュラムを実施

新

大学校（2 年目）

※定員400名

新体制のカリキュラムを実施

新

大学院（3 年目）

※定員100名

既存の 3 コースに加え、1 コース新設する。定員を少数に絞り、個人研究中心としたカリキュラムとする。

新

新たな板橋グリーンカレッジ大学院のカリキュラム案

令和7年度まで

- ・定員 30名×3コース 90名
- ・3コース（文化文学・社会生活・健康福祉）

回	実施形態	内容
1	オリエンテーション	全体の説明／受講者全員の自己紹介
2～6	講義①～⑤	講師による講義
7	研究テーマ決め	グループ決め
8	グループ学習①	テーマ・役割分担の決定
9	グループ学習②	情報共有・意見交換
10	グループ学習③	情報共有・意見交換
11	グループ学習④	発表会レジュメ提出／発表内容の準備
12	リハーサル	発表会のリハーサルと補足講義
13	卒業研究発表会	発表と講師による講評／レポート提出



令和8年度以降

- ・定員 25名×4コース 100名 30名×3コース 90名
- ・4コース（A・B・C・D） 3コース（A・B・C）

回	実施形態	内容
1	オリエンテーション	全体の説明／受講者全員の自己紹介
2～6	講義①～⑤	講師による講義／ 意見交換・課題整理
7	研究テーマ決め	研究テーマ決め
8	研究・学習①	情報共有、進捗状況の確認
9	研究・学習②	中間発表
10	研究・学習③	研究内容の活用場についての討議／発表会レジュメ提出
11	リハーサル	発表会のリハーサルと補足講義
12	卒業研究発表会①	発表と講師による講評／レポート提出
13	卒業研究発表会②	発表と講師による講評／レポート提出

【カリキュラムの変更点】

①定員の見直し

——定員を30名から25名へ変更する。——

②コースの増設

——3コースから4コースに増設する。コースも分野を固定せず、大学校で学ぶ科目に合わせてコース内容を編成する。——

③学習内容の見直し

講義を受け身で聞くのみでなく、全体で意見交換の時間や、発表会の時間を増やす。学習の成果を発信する機会を設けることで、講義への理解を深める。

また、受講生ご自身で学習内容を対外的に活用できる方法を考える時間を設ける。最終回までに研究内容の活用方法をまとめ、発表する。

令和 8 年度 板橋グリーンカレッジ大学校 カリキュラム案

大学校 1 年生 (23科目から18科目選択)
①芸術：ルネサンスと西洋美術 ②文学：日本の中世文学 ③文章論：文章の書き方 ④絵本：絵本から考えるSDGs入門 ⑤音楽：世界の音楽
⑥歴史：戦国時代の武将 ⑦哲学：西洋哲学入門 ⑧観光学：世界遺産の価値を読み解く ⑨板橋学：板橋の祭事と伝承 ⑩文化：日本と世界の比較文化
⑪健康：腸内環境と乳酸菌 ⑫福祉：板橋を誰もが住みやすいまちにするために ⑬心理学：発達心理学入門
⑭法律：暮らしと法律 ⑮デザイン：水系デザインとまちづくり
⑯社会：日本の政治・行政・政策入門 ⑰ジェンダー：ジェンダー問題について考える ⑱環境：地球温暖化を考える ⑲経済：経済のしくみと生活
⑳天文学：天文学のすすめ ～星空を見上げてみませんか～ ㉑科学：土壌の生物と生態系の循環 ㉒IT：現代社会と情報リテラシー ㉓スポーツ学：歌舞伎と身体運動

※下線の科目：R8新設
※網掛けの科目は「板橋学」として区分されるもの
※講師との調整により、内容が変更となる可能性あり。

大学校 2 年生 (18科目から6科目選択)
A 文学・芸術 ①芸術：日本の妖怪文化 ②文学：フランス文学 ③絵本：物語絵本の表現と機能 ④音楽：世界の民族音楽
B 歴史・文化 ⑤歴史：日本の近現代における政治外交史 ⑥哲学：中国哲学と道家思想 ⑦板橋学：板橋の歴史シリーズ
C 健康 ⑧健康：栄養と食生活 ⑨心理学：集団心理学 ⑩福祉：日本の社会福祉の歴史
D 地域と暮らし ⑪法律：憲法を読み解く～三権分立の仕組み～ ⑫建築学：アジア建築とアンコール遺跡
E 社会 ⑬社会：現代の社会問題 ⑭地理：人口減少社会と地域デザイン ⑮経済：経済現象と応用経済学
F 情報・科学 ⑯天文学：最新の宇宙科学 ⑰科学：生命と未来の共進化 ⑱メディア：映画作品とメディア環境

(参考) 令和7年度 板橋グリーンカレッジ大学校 カリキュラム

大学校 1 年生 (23科目から18科目選択)
①芸術：日本の美術と文化 ②文学：日本文学 ③文章論：文章・論文・レポートの作り方 ④絵本：絵本から学ぶ ⑤音楽：世界の音楽
⑥歴史：近代の歴史 ⑦哲学：哲学入門講座 ⑧観光学：日本の自然遺産、世界遺産の今後の課題 ⑨板橋学：板橋の祭事と伝承 ⑩文化史：日本と世界の比較文化
⑪健康：食品表示から食の安全・安心を考える ⑫福祉：板橋を誰もが住みやすいまちにするために ⑬心理学：心理学入門～思考と動機づけの心理学～
⑭法律：刑法について ⑮建築学：日本城の建築
⑯社会：ジェンダー平等 ⑰地理：板橋の地理 ⑱経済：経済のしくみを知って賢く生きよう
⑲天文学：天文学のすすめ ～星空を見上げてみませんか～ ⑳科学：生命と地球の共進化－過去から未来を推定する－ ㉑プログラミング：身近になったコンピュータとプログラミング ㉒メディア論：アニメーション論 ㉓統計学：はじめてのデータ分析入門

※下線の科目：R8再編
※網掛けの科目は「板橋学」として区分されるもの

大学校 2 年生 (18科目から6科目選択)
A 文学・芸術 ①芸術：近代の西洋美術と美術館の楽しみ方 ②文学：明治の文豪から学ぶ（樋口一葉、尾崎紅葉など） ③絵本：大人も楽しむ絵本学
B 歴史・文化 ④歴史：室町・鎌倉時代の武家社会と寺社仏閣 ⑤哲学：西洋哲学者から学ぶ思想と現代社会 ⑥板橋学：板橋の歴史シリーズ
C 健康 ⑦健康：筋肉と血液の関係 ～食事と運動がつくる体組織～ ⑧心理学：ストレスの起源と社会様相の変化 ⑨福祉：日本の社会保障（福祉・介護など）
D 地域と暮らし ⑩法律：電子商取引で覚えておくべき法（著作権法・民法など） ⑪生活史：昭和の生活史
E 社会 ⑫農業：日本の農業の未来と板橋の農業政策 ⑬地理：武蔵野台地と板橋区の地理 ⑭経済：日本経済と国際情勢 ～為替の仕組み・円高・円安～
F 情報・科学 ⑮天文学：最新の宇宙科学と宇宙工学 ⑯プログラミング：身近なプログラミング応用 ⑰統計学：確率・統計の楽しみ（応用編） ⑱スポーツ：スポーツと健康科学